

総務省 IPネットワーク設備委員会

端末機器の技術基準等への適合性に係るセキュリティ基準の 見直しについて

2025年6月24日

一般社団法人 電子情報技術産業協会

(無線規制対応専門委員会 製品セキュリティ専門委員会 スマートホーム部会)

一般社団法人 電子情報技術産業協会(JEITA)の概要

- ◆ JEITA は国内外で約 36 兆円の規模を持つ IT・エレクトロニクス産業を担う業界団体
- ◆ 設 立： 2000 年 11 月 1 日 (EIAJ と JEIDA が統合)
- ◆ 会員数： 388 社 正会員 353 社 賛助会員 35 社 2025 年 5 月 14 日現在
- ◆ 会 長： 漆間 啓（三菱電機株式会社 代表執行役 執行役社長CEO）
- ◆ 目 的： 電子機器、電子部品の健全な生産、貿易及び消費の増進を図ることにより、
電子情報技術産業の総合的な発展に資し、わが国経済の発展と文化の興隆に寄与する
- ◆ 領 域： 電子機器、電子部品 材料、電子デバイス、IT ソリューション・サービス等
- ◆ 主な事業活動
 - 政策提言(CPS / IoT の推進、税制改正 / 規制改革)
 - 調査統計(幅広い製品分野の動向把握)
 - 課題解決(社会的要請や業界共通課題解決に向けた取組み)
 - 市場創出(共創と競争によるイノベーションを促し、新たな市場創出のための事業)
 - CEATEC JAPAN 開催など

全体の取り組みを通して

電気通信事業法 第1条「電気通信役務の円滑な提供を確保するとともにその利用者等の利益を保護し、もつて電気通信の健全な発達及び国民の利便の確保を図り、公共の福祉を増進する」の目的のもと、安全安心な端末機器提供を行政・認証機関・認証取扱業者(製造者・輸入者・販売者等)が連携してセキュリティ向上を目指すことに賛同いたします。

JEITAでの検討にあたっての考え方

(平成30年4月27日 IPネットワーク設備委員会作業班説明資料より ※一部更新)

[製造業者の責任]

個々の機器に必要なサイバーセキュリティ対策を行うことは、製造メーカーの基本的な責務と考える。会員各社はそれぞれが高い責任感を持っており、既に各社で必要なセキュリティ確保に取り組んでいる。

[日々替わるセキュリティ対策]

しかしながら、サイバー攻撃は年々増加し、かつ複雑かつ巧妙化している。脅威は日々変化し、当然、対策も日々変化せざるをえない。

[運用等を含んだ総合的な対策の中での機器の対応]

また、セキュリティ対策は、機器独自の対策だけでなく、ネットワークやシステム全体の運用も含むセキュリティ対策と組み合わせた総合的な対策が必要であり、複数の種類の IoT 機器に一律の対策を行うことは難しく、その有効性を慎重に検討する必要がある。

[セキュリティ対策コスト]

セキュリティ対策に必要なコストも上記の総合的な対策の中で検討されるべきであり、その機器が使われる用途・環境を十分に加味しないといたずらに不必要なコストアップにつながる懸念がある。

[セキュリティ対策の見える化]

セキュリティ対策の顧客・消費者への見える化は重要であるが、その見える化が何を担保するのか誤解を生まないよう慎重な運用が必要。

[グローバル市場に対する対応]

多くの機器の市場はグローバルであり、セキュリティ対策は、国際標準化や国際的な規格との親和性があることが望ましい。

① アクセス制御機能、ID・パスワードの適切な設定に関する機能（デフォルトパスワード及びその更新等）

- ② インタフェース無効化機能、ファームウェア更新機能について
- ③ その他

[課題]

- a. パスワードの変更・設定については脆弱性を回避する有効な手段であると考ええる。
- b. 国内でもJC-STAR制度が立ち上がる中、異なる基準の導入は製造コストおよび保守コストが上昇する可能性がある。
- c. 上位法令で義務化すると硬直化、時代の進展に合わなくなる可能性がある。

[提案内容]

- a. アクセス制御機能、ID・パスワードの適切な設定に関する機能は、下記いずれかの基準になることを要望する。
 - i. 現行法令を維持（端末設備等規則第34条の10）
 - ii. JC-STAR ★1（S1.1-01, 02）
- b. 管理者、ユーザともにデフォルトパスワードを規定文字以上設定すること、デフォルトパスワードの更新を求めること。規定文字数については上記a-i/iiに準ずる。パスワードを設定しなければ利用できないような場合にはデフォルトパスワードは不要とした。加えて、任意でパスワード強度を上げるための施策として文字数を長くすることが考えられる。「NIST Special Publication 800-63: Digital Identity Guidelines」記載のようにスペース文字も許可されていることを明示的に示すことを提案する。
- c. 省令(端末設備等規則)より、告示(例えば平成16年総務省告示第99号（端末機器の技術基準適合認定等に関する試験方法を定める件）やガイドライン(電気通信事業法に基づく端末機器の基準認証に関するガイドライン)、で示すことを要望する。

- ① アクセス制御機能、ID・パスワードの適切な設定に関する機能（デフォルトパスワード及びその更新等）
- ② インタフェース無効化機能、ファームウェア更新機能について
- ③ その他

[課題]

- a. 脆弱性対策として、不要なインタフェースを無効化するのは効果があると考えられる。
- b. 無効化に対して、物理的なインタフェースは確認が行いやすい。一方で論理的なインタフェース(プロトコルのポート)は確認が難しい。
- c. ファームウェアの更新はセキュリティ以外の機能に影響を及ぼすことがあり、最新版の適用がそぐわない場合もある。
- d. ①と同様、異なる基準の導入は製造コストおよび保守コストが上昇する可能性がある。
- e. ファームウェアの不正な更新を受け入れることによって、踏み台にされる可能性がある。

[提案内容]

a/b. 不要なインタフェースの無効化を規制

- i. 物理的インタフェースは認証審査時に確認等を実施
- ii. 論理的インタフェースはマルウェア侵入等に使われる代表的なポートを予め明示し、認証審査時に動作確認
- c. ファームウェアの更新は、セキュリティ機能とは別に機器自体の性能向上で実施することもある。「ファームウェアの最新版が適用されている」か、「セキュリティ対策が実施されたバージョンが適用されている」ことが確認できること。更新機能に関わる基準は以下のいずれかを参照することを要望する。
 - i. JC-STAR ★1 (S1.1.-06, 07, 08, 09)
- d/e. インタフェース無効化機能、ファームウェア更新機能は、下記いずれかの基準になることを要望する。
 - i. 現行法令を維持 (端末設備等規則第34条の10)
 - ii. JC-STAR ★1 (S1.1-06, 07, 08, 09, 13)

- ① アクセス制御機能、ID・パスワードの適切な設定に関する機能（デフォルトパスワード及びその更新等）
- ② インタフェース無効化機能、ファームウェア更新機能について
- ③ **その他**

[提案内容]

(1)対象機器について

2018年のIPNW設備委員会技術検討作業班で「直接接続する機器の検知率が95%、後位接続の検知率は5%程度」とのことから、直接接続する機器を規制対象とした経緯が有る。2025年5月開催のIPネットワーク設備委員会でも「JC-STARと技適制度と連携していただきたい。」という御発言もあり、強制規制は今まで通り、電気通信回線網と直接接続する機器を規制対象、JC-STARのような任意規格で間接接続する機器をカバーすることを提案する。

参考：IPNW設備委員会技術検討作業班資料 https://www.soumu.go.jp/main_content/000573092.pdf

(2)不適合機器の排除について

健全な国内市場を維持するため、電気通信事業に関する法令・規制に明るくない業者による技術基準不適合端末機器を国内市場から適切に排除されることを望む。また、技適セキュリティ要件施行前の機器で、サポート期間が失効したセキュリティ対策を行っていない機種は、現行の技適セキュリティ要件を満たしていない可能性が高いため、機器の置き換えの周知活動等の推進を望む。

以上